


刊夕日九十


**パ氏京城出發**  
 十五日 入京朝謁 ホテルに滞在申中  
 伯國サンパウロ湖前農務長官ドク  
 ル、パルロス氏一行は二十日午  
 八時三十分南大門驛發、汽車にて退  
 笠山に向ふ

生したるものなり目下日露協會及  
一シユミツト氏の出發と懸聯して  
東洋をめぐりてゐる

止むる者多き邑内又清静飄行さ  
るを以て金化指口二郡に連する  
政修を俟ち著しく發展すべしと  
▲小包郵便輸入 仁川に  
於ける本年一月以降十二  
の小包郵便輸入額は二十  
年前年同期の三十三萬二千餘  
圓

町歩の増立並に閑空をなし近日市場  
移轉の申請をなせしに八月廿四日  
に付き日下店小肆建築中なるを以て  
來月初旬には本移轉地に於ける市街  
開始を見るに至るべし

▲船積不足問題  
の爲め坂城町既移出貨物不  
著しく停滯し貨主の迷惑

比較すれば五萬二千餘圓の減少  
せり今之れる月次に掲ぐれば左

大正五年	四年
三月六號	〇増△減
三、三五九	△二七五
四、一〇八	〇一〇八
五、二七五	〇三二
六、一四五	△一七八
七、五六六	△二七五

計は目下の處如何とも方法なく近  
依れに運賃見舞に到るに至れる  
般其不足を見起し到底店主側の要求  
全部に應じ難きを豫想したる結果に  
於ては鈴木支店長の歸來を待ち直  
に交渉を開始したるに橋店長の態に  
耐えなからず兎然物あるより當分

に於ける減少は六月迄は却て五十四圓の増加を示せるを以て下  
に於て減退せるは明白なるが之

	月	月	月	月	月	計
元金	三、七五〇	三、六八〇	三、六二〇	三、五九〇	三、五五〇	一八、二九〇
利息	一、四〇〇	一、三五〇	一、三〇〇	一、二五〇	一、二〇〇	六、五〇〇
税金	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	五、〇〇〇
手数料	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	五、〇〇〇
その他	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	五、〇〇〇
合計	七、一五〇	六、九八〇	六、九二〇	六、八九〇	六、八五〇	三六、〇六〇

して海陸何れと其の好まるゝ處を  
選ばれたし尤も當店としては能く振  
荷主の便宜を計る爲め本社へも要  
求する筈なれども定期船以外臨時船  
を廻航するには常港一箇所にして直  
に船腹を充たし得る程度にあらずば  
は諸合ひ難く事毎如何とも監納なし

土地調査局用記録文書等の  
 び内地より絹布毛織物・綿布  
 も協議し何等かの善後策を講ずべし  
 ざるは勿論なれば荷主側は會議所と

順序なりと、▲平山仲買店開業  
 協會平岡理事は、今回其筋の結可  
 示にして殆ど一割に過ぎずと、尤も汽  
 車沿線に於て、非々出賃ありと、勿論報

二十日より仁川米取引所仲買  
あれば本月末頃には相當の數量に達  
すべしと▲經濟例會 新任堀江検査  
開業したり▲落成自祝宴 仲町  
おや

に學び業を卒へて歸朝したるが、十三日午後六時より木浦ホテルに於て開會出席者數十名にして非常の新築の病院落成を兼ね二十三日

五周より聴衆に於て自勵を催  
盛會なりし

▲道長官勳爵滞在中なる

多きに失せしより低地は  
並に出穂孕穂に多大の傷害を與へ  
實習女學校を參觀し同校の畢業成績

超る優に  
一割以上の増収あり收  
め「女子の教育に就て」と題し約一時

盛期 一週目前既に大部刈り寄  
釜山地方院長鈴木伍三郎氏は同書  
感動を與へたり▲地方法院所長官

遺ひ一時取入後れとなりしも頃  
 の快晴に目今農家何れも之が收  
 書の豫定を以て同法真會の爲め大  
 書記江幡直氏を随へ十五日より五日

穀は極めて盛なるべし▲粗買  
 の活動 當地は疫域廣大全道  
 紐育へ出張を命せられたる釜山鮮  
 根支次 浦東開美氏の爲め釜山有  
 邱一出張せり▲才閔氏送別會

三郡の中心點にあり、道路四通し  
 志は十五日夜南嶺三等樓にて盛大な  
 送別會を催したり

人 事 消 息

を見交迎至使の場所なる丈け群  
森菊中谷當地の林辻川掘田及び  
▲府郡警視廳警員六十三名一行 十九日午前  
水原へ

<p>側四戸の各大商店は出籠旺盛 前に控へしことゝ何れも塵手 <small>（おぼつかた）</small> <small>（おぼつかた）</small></p>	<p>神林啓太郎氏 感興炭礦株式會社社長 午前元山</p>	<p>十九日</p>
<p>ミラー氏（京城駐在米國領事） 十九日夜程</p>		

市場移轉、漸次發展の趨勢に在り、來市場箇所の交通要路大道を挾みより歸接

▲平成中學校職員名簿三十四名

十八日午後四時

▲フナギ天(廣義社在任職員) 八草中の長

を見ることを以て當地光岡  
市街地を並に衛生上の  
ため、  
▲大塚庄太郎氏(熊山本道順合共  
京浦尾屋敷) 十九日朝入



馬賊志望なら紹介して上ませう！

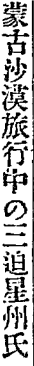
▽數千百の山水風景

美術、風俗、動植物の寫生畫が

を爲て居るのかと尋ねると仕方が有  
りませんよ日本の土を十四五年と踏  
んだ事が無いのだからこの事これか  
ら何處へ行くかと尋ねると平原附近  
をぶら付きながら京城まで行つて京  
城で暫らく足を止めて

▽日本畫家は昔から

んですと旅行鞆りょこうたぬの中からスバラシク  
 大きなブックを五六冊出した見ると  
 大陸寫生紀行たいりくしやうせいぎこうと表紙へ金字で題して  
 亞非利加あふりかの中央ちゆうおうまたは兩極りやうきよくの氷  
 中までも跋涉たふさつして新しい書題に  
 れなけりや不可いかにせん私は蒙古むんこの



蒸氣のいゝ裏にはこんなともある  
とくてんな  
の底を乾す酒がきゆつと  
隙の中に快く沁

17年、内地の音が波及したり、工場の物づつうになつてゐるが、草中、時鐘になると、強きつてくるのは花柳界のやうになつてゐる。

**問題** では無い、然ういふ事、地から深山の人が集まつて来てゐる。各人のさへやうによつては何うにである、またこの苦惱の出るの

といふので  
とらつて開き一町を返せといふ  
座敷に招けた者の

[illegible]

**野暮**（のぼろ）  
天へ、亦然んな事を氣  
なすべき事柄を少してかきり

で、見やうと思ふが、それは、宮城の料理店の料理不味いとか、料理が高等とか、客に對するが悪いとか、習氣がどうだとか家が汚ない

井ノ口 植善 三十九日留  
 を發したる四飛行機中三十九號兒  
 仁川の渡止  
 冬告れ三

閑探のものは筑前朝倉郡役須  
 藤原某陸保藤大尉材料を持ちて急行  
 府城は無事脱獄なし門待電  
 中空的提灯落し  
 木枯が吹き出す世間は  
 しくなるが下級労働者に至  
 の木枯無節を感ずる者は  
 仁川には二年計り前からの

十九日午前十時より永登浦警察  
や坡止塙人足の數が千數百に  
相であるが本年は此等夥多

内には於て舉行されたり當日密雲  
空を遮したるも定刻前田村組頭  
下内郷人消防組は揃ひの法被姿  
消防服器具等を揃へて緊要構  
△俗語「読者文藝」

て、**同型方**として、**抜糸**を行って、**鑿鐘**を**合圖**に、**田村消防組頭**の**▲銃**に**白う**、**夜眠**は消えて、**星**に**悟**な

理の下に整然と前及び外二箇所の  
 消火栓に依つて水管車の操縦を  
 力き仰はされたるホースの尖端よ  
 り勢よく空中に連なり、用で充分  
 勢よく中空中に連なり、用で充分  
 勢よく中空中に連なり、用で充分

▲主夫へ不慮の身を持ちかへし  
 手

▲くりくりと夕日が沈む中、地  
 京 城 未

釜山 俣

里 京 城 靜

警察署構内に整列し沖本署長より訓示あり當日警務本部より消防主任小能整部の講評ありて

登浦小學校に設けられたる天幕  
もならない程の賑ひを呈して

消防組員の運動會を開き、著裝競  
以下十番の競拔ありて頗る盛況を  
せり因みに當日は學校組合管理者  
は急ぐ、煙草の米豆は

▲海陸共に増加  
風であるから、郷民の生活狀況

道係より永井技手等來場じたり  
別れた人達此等は戸を剥

三、五七有官山崖中明石及木路中  
石山嶺前約兩處半、山路下約二三

□一人が四時間乃至五時間ゐた事になつた平均作の坪に鑛を入れ其の出来高に

てゐる。それ以外の内は、一時間十銭の規定とは、一時間三十五分、四十分を以て一時間の割合に規定されかゝつて出た。

□利益は、経営者、監督者、職員が相當の損失によつて配分されるのであり、位に考へるものなうた。それは全く反対。彼等とは一人

全利益を乗じたる後收表面を折半する。居れるが小作人側は地主が畦畔の半少よりも減め自己の所得高が實收の半少より減じ居るのを口實として此等數年前より紛擾を醸し居たもの。て今も單に大擧して徴收隊員

部屋に知つてゐた奴の  
 兵が監獄を出た時から  
 始めて計算して三十分一時間と正確に一分も  
 群衆は間も無く解散したりと(仁川)

**●客車貨車衝突** 去る十七  
午後三時五十五分京釜線大田發南  
行列車が同日午後七時十分秋風嶺  
附近で貨車と衝突し、乗客は重傷  
を負ひ、死者も出た。原因は不明。

置屋シヤは一時に時計の針の示す通りのき等にて約二時間延發したるが乗客

替へ家根を破つて炊をした爲め住むには寒く喰ふには食無く何れも満落驛より約三里を距る彌勒山の深林に

も悪疫流行の影響を受けて  
 湖口と麦を兼ねて農夫も  
 しければ黄瀬憲兵派遣所にては附  
 農民を勢力となし十九日の日曜をも

大根の不作が甚しめ船に會うた大根に船載せて居る、要するに木枯炭が昨今の仁川は慌しい郷民の脚水が日増しに強くなつて来ると共に結水が日増しに強くなつて来る

●人相書が手掛、元山本町目次若芝旅館に客附として雇はるる

紛擾は數年前から  
中忍び込み柳行李在中の衣類入用

仁川警署警管内永宗島に於て遊聞友の  
戰艦より小作務徴収の爲め出陣した  
る理事小杉孝治氏及び係員に對し數百  
の小作人類集りて不意の狀を呈じ訴  
べに來りて船乗りは中絶せしむる直ち  
（百八回）を誘致し幸而早田實屋に  
戦し之を艦黨として幸而起かん  
元山警署長餘時韓派遊聞に立寄  
平衛行きの近路を同所警兵に導  
たる際唐くも手配中なる人相捕に突

星明下りの三つ目り行金あんな ぱん ぎん  
 同様に方にも送山を枕病不埒の小作あんな ぱん ぎん「かりと

**◆週末するミニ一圓の習金**

仁川商業會議所の申し合せ  
仁川商業會議所は、舊く「習金」を出つて半邊に減る習慣であるが、其後、此種習金は減少し、十七七の間の差を充て、此れを減らす。

六期以上の在籍者然り得る功勞者、評議員に到つては、別の規定をする由にてある。それから一つは未だ定さず。

◆**規律**（きりふ）  
 の振舞を計る爲  
 にしたがふ度には更に  
 開會時刻三十分以上を経過して  
 出席した者に對しては  
 せない場合は流會にする事にな  
 るであらうか此れなごは

りあつて来る。千日石集の群  
群良き。食糧規程なる者も制定  
す。求むし下の内容を見よと  
目録に諸議員及び議決案に全判す  
の明案がひきまゝ依り處分す

◆一回 につき金一圓の

◆單に 商業奨励所新

では無定額に出席する者は  
嫁位に付得たる日大の  
食には何の娯楽でも非難

て袴羽織又は、  
洋服  
を着用する事私  
敢する場合は一期繼續者が感謝  
もある通り斯うした刑典を待  
するの必要を感じた理由は今

水陸七日以上に達する場合は又ハ  
 食料ヲ國府若クハ府縣の附け屬  
 會時期ニ時間酌量ニ其旨を屆  
 呈スルニ由ル  
 第五期金貨一個として  
 金貨(金貨)以上の名  
 額ノ差引ないが兎に角身體と  
 て此處迄責任を自覺するに  
 至つたは慶大可哀である

特許外任防民名聞犯禁一應賞給

○ ○ ○ 急 告 ○ ○ ○

大賣出最終日二十日  
但午前八時より午後五時限り  
御禮として大見切り赤札より  
一割引にて提供仕候間  
御買上の程希上候  
肩掛、帽子、シヤツ類  
其他各種

京城 辻屋







宮本武藏

第二百二十一盾

浪上義二郎速記

曉雲二天の兩人は京都盛岡を出立いたし、是より出羽の秋田を指して参りました。海に氣配じの道中で参して急ぐといふ譯でもなく、勞るれは三里が四里で泊つてしまふ、旅にしても悠ういふ旅だぞ宜うござります。もう日も西に傾いて七ツ下りもなつてから六七里も行かなければならぬなどいふ旅では至極辛うございます。日に歩み夜に泊つて早くも秋田館へ入つて参りましたが、此處足も冷めて海に困る。二木太次郎城下までは二三里もございます。然うかな早く宿へ着きたい。一馬なり龍なり見當りまして、一馬あゝ然うして貰へいませう。曉あゝ然うして貰へいませう。話をしながら行く、後の十四五歳になる小僧が馬を牽いで参りましたから二木は是を見まきに喜び、一あゝコレへ其處つた馬夫、小パイ、俺かね。二秋田の城下までは未だ餘程有



は秋田より三里手前の志野ノ原といふ處へかゝつて参りますと、兩三日前より雪罷してあつたがチラーノ雪が降参りました、今降つて来たと思ふに忽ち一面の白蛇となりまゝ、最も出羽奥州と来た節には雪の名物でございます、雪の名物といふのは越前の中の内河内、越後の鹽濱出羽の尾花澤を日本の三雪といふ位、雪は豊年の實と云ふが正巴、降り積る、實に真綿を千切つ投げるやう、風も強くなりまして、晴雪は老人のごと故俗程困難の様子、是を見て二天が、どう／＼降出してしまが、罷して居りますます、雪でございますから急には飲みまします、御老體のことです、から喉を堪へませう、手イヤ二年を越しては叶んもので、手

ら家へ歸つて休まうと云ふのだが、  
 そいつを又御城下まで乗せて行くと  
 云つたら馬も可愛想だ、二「デモあ  
 らうが何うか乗せて貰ひたい、小「見  
 やア御懸儀の様子であるからそれじ  
 やアお乗せ申しませう」と小僧は馬  
 を其處へ牽て參つたから、二「左様な  
 ら此の馬にお召しないます様、晩  
 然うか、それなら乗りますが、一  
 土お前は何うする、二「私は後から  
 て参ります、曉「それは氣の毒だが  
 少し先へ行つて俺が下りるからお朝  
 京城本町一丁目  
 杉本耳鼻咽喉科醫院  
 電話二三〇〇  
 密學士 杉本 砂

質業開  
濱田  
（永樂町停留場北  
へ入萬成舍隣）  
資金則三月十五番

お前は、何處になんなさる。小僧は、何に十四日、四や十五と云つて見れば遊びたいだ。此の雪の降るのに馬を牽て、業に出るゝは感心なことである。と兩親はあなが。小「ハイ」ござり。と云ひながら小僧はボロリとをこぼしました。

[illegible]

御料  
御圓白粉



今いまの季き節せつのお化け粧じやう法ぽう

皮膚の荒れ易い今日此頃、色艶の良いい美しいお化粧をするには、洗面後、入浴後に皮膚の荒れを止め、肌理を細かく滑かにし、白粉の附着をよくする特効ある化粧水御園四季の花を塗り、其上にノリとノビがよく、非常に美しく着く御園白粉を御附け遊ばすに限りまず




旅行、散歩、觀劇、宴會等にお出掛の折には、現角顔に透り出る脂肪や汗で化粧が汚れます。之を容易く美しく直すのが顔直しで、其れには紙質が丈夫で香氣がよく、毫も皮膚を荒す事なき海國純白粉が一番です。海國純白粉は一罐の中に純白の外淡紅色の分をも添えてありますので、自分のお顔直しには微りと櫻色に美しく着きますから、非常に御便利で

御園紙白粉  
定價一冊  
金拾五錢

錦本品粧化園油料潤

園蝶胡東伊



先贊發品粧化園油料潤

店商屋見丸

(187)

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by the thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.

The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuba Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and, moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.50.

料 壯 強 養 滋



○三ノ規那鐵葡萄酒

規那、鐵及葡萄酒は、**強壯、補血、興奮、強壯**等の諸効驗を得るものにして、殊に此の三を配合して、所謂**鐵葡萄酒**となし、食事に臨んで之を服用せしむれば、三者を容易に且愉快に用ふることを得て、何れも確實に消化吸収せられ、其の効價の急増大することは既に公知の事實に屬す。其の製法不當ならんか及又其品質不良ならんか、之を服用するに當りて無効なるのみならず、却て不快なる結果を齎すること甚だ危険なるなり、然るに本品は歐米に於ける諸種の製品並に最新の學說に基き、調査研究を重ね、山梨縣金崎葡萄酒製造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、人造の香料を用ひ、純良、有効なる規那、鐵及葡萄酒の健康、補血、興奮、強壯等の効力を遺憾なく發揮し、人々に容易に吸收する愛用、規那、鐵及葡萄酒の發熱、下痢、食血、委黃病、貧血より起る神經性疾患等に神經衰弱の佳香美味を具へ、食欲缺乏、營養不足、慢性的衰弱、一經の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養飲料となす。ヒステリー、ヒポコンデリー、產後及病後の衰弱、一經の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養飲料となす。時に、精神の困憊並に身體の疲勞を回復し、元氣増進、精力増進を欲する場合に推奨すべき絶好の家庭必需品なり。

藥庭家ワツシ ○ 除石ワツシ

●三花浪墨部業答  
●五四、九四四、八四四

店商屋見丸

目丁四町橋本日市京東  
●一七京東答振



江華島に遊ぶの記

生 峯 色

英國は之に反し、對外貿易の通關を來  
九千九百十五年に於ける對外債務  
五億磅を算するに至りて然るに英  
國の正貨準備が減少せしめて千九百  
十四年の初めに比し却て増加せるの  
理由は蓋し英國が其所有する米國有  
債證券の動員を行はんとす且つ佛國  
を協同して米國に於て五億磅の爲替  
借款を締結したるに歸せざるべから  
ず

兩國に於ては既に述べたるが如く英  
國が協同して米國に借款を締結し  
たる外同國々立銀行の正貨準備の増  
加を來したる主因は國民の愛國心に  
より政府の徵集に應じし所に其鐵心  
を交換して十三億法の正貨を國立銀  
行に納付したることなり上記の事  
實は國立銀行支配人が先頭開闢せる  
同行様主幹會席上に演説したる處を  
以て之を證するに足る又同様に同行  
の正貨集中の目的を補助せるは千九  
百十五年十二月に制定せる佛國法定  
價格を破り佛國貨幣を以てする取引  
の禁止法に於て之に違反する者は沒  
收及刑法上の制裁を受けるべしと感嘆せ  
る一事なり獨逸は其中中央銀行に正貨  
を吸收せんが爲め最も斷乎たる手段  
を執り獨逸帝國銀行の正貨準備額  
は千九百十四年一月一日に於て十二  
億五千六百五十萬馬克にして千九百

豫備基金として別に同銀行に引渡さ  
れたる二億五百萬馬克を差引くとき  
は其殘額たる九億八千八百七十萬馬  
克は悉く同行が民間より徴收したるもの  
の之と謂ふべく其中には獨逸の古銀  
地住民より強制的に奪取せるの古銀  
り雖も古銀地の住民に於て敵の掠り  
近する迄其手許に多額の金を藏置す  
るの危險を冒す者ありとは思はれ  
ざるを以て此等住民より強制的奪取  
せる金は左様の多額に上ることあり  
得べからず故に獨逸帝國銀行正貨準備  
額の増加は主として民間より徴收した  
たるものとせざるべからず正貨吸收政  
策の法としては千九百十四年八月  
日の兌換銀法と紙幣發務適用法と  
を合せて施行せるのみならず千九百  
十四年十一月二十八日及び千九百十  
五年一月二十五日の法律を以て内國  
及び外國の商取引に際し正貨を以て  
買賣すること禁止し（政府及び公  
國銀行の委任に依るものは此限り  
非ず）違反者は禁錮及五千馬克の利  
料に處すべしと感嘆せるは斯る此  
の用法に次ぎて鐵心鐵心は斯るに  
民の愛國心を衝動し國民所有の金  
帝國銀行に提出し以て紙幣及び小  
帝國債券と引換せしめ尙餘隊兵に對  
しては金貨提出により其歸休期限の  
延長を許し發生に對して金貨總付は

中は變化なかりしも、上海に近づく  
より、雲霧空室を見、翌十日は秋  
須てよく如く、朝霧長空は謀は  
吹く、午後は雲量再び加はり、破  
寒征衣に生ず、旅西に歸り枕上に  
積せる數日の天氣圖を見るに七百  
十ミメートルに近き、此季節に於  
ける異常の高氣壓は、北滿一帯を  
ひ、七百四十八ミリ前後の深厚な  
低氣壓の珠の南東に存せるに由る  
強烈なる偏北風を起し、非常の低  
を生ぜし、此季節に於ては、海  
最前溫度七十三度に上るを普通  
するも、漸く五十六七度に達せ  
ざるに至る、十一月二十三日は、

○開港後未だ僅に八年……は清津  
官民の心もすべし、口に出す辭であ  
る。此の點には漸く學齡兒童達し  
た清津市は内地人四千弱を包容せ  
る今日の市街を作り、年間貿易三  
萬圓に達して多數の發展を誇り、併  
に、將來幾邊まで清津市況の展覧を  
呈するか解らぬのである、と云ふ事  
を含ませてあるやうだ。

●日露の戦時、清津は鮮人戸數僅に  
百戸に過ぎぬ一漁村であつた、然も  
一度吾が北韓上陸軍の揚陸地點とな  
つて以來、内地人の來住する者続出  
し四十一年十二月には清津理事處開  
十一、四年四月には萬國通商港として開  
放し、新に税關を設け、新市街指定の  
の方法を講じた、四十二年十月日韓  
併合と同時に理事廳を廢止して府制  
を布き今日に至つてゐる。

●最近貿易年額の三百萬圓は之れを  
開港初年の貿易に比すると、正に入  
倍強の増進を示してゐる、但し清津  
は前々回にも書いたやうに狹い町で  
滿洲其れ内地が消費地でない、及び  
其の背後の鮮内には僅に羅南龍城富寧  
輪城會樂の二三を有するに過ぎず、  
而して平野は少なく、物資の生産は  
隨分乏しいのであるから、三百萬圓  
の清激物資賣入中、免稅通過制度

の發着なる高麗應は徐々南下し、楊  
子江中下流一帶を掩ひたる、低氣  
壓の東去せるにより風力減殺し、所  
謂新舊年間の秋景を生ぜり、而して  
高麗應も楊子江に入ると共に著しく  
壓力を減じ、七十七、七十四里の下  
潮猶大減せん、本邦も從て漸次  
好天氣に向へり、九州の大演習も至  
極好天氣ならんと喜び居り候、一般  
人に憂天候なり爲め、長江千里の秋  
色は見るを得ざりしも、上海附近野  
人の籬落に、綠樹の紅黃に變せるを  
菊花の點綴して、好書讀みたらざる  
を得ず、昨日の日曜日上海歸人は多  
く蘇州天平山の霜楓を賞せん爲め發  
足せり、是地小生作遊覽せし處、  
東京の秋景中五指の中に在り、蓋し  
連日の繁霜は更に一層の美觀を加へ  
しならんと思ふ、然れども概論せば  
江南は春色の地に於て、秋色は並稱  
するに足らず、我邦の美に及ばざる  
處也。(未完)

鐵道の著手を見るに至らんか、北滿  
方面へは一脈の通路を生じて輸入  
貿易の一段進捗を見るべきは勿論、  
間島樺太及び北滿平野の物資は交通  
機關の刺戟を得て、其の產額を激増  
し、清津輸出品の數量も少なから  
ざる増進を呈すべく、清津の通商貿  
易は長足の發展を期待してよからう  
●唯咸北內陸は如何と云ふに山地  
のみで平野が少ないから、其の輸移  
出農産物増加を望む事は出来まい  
然し無限の林産物並に従來殆んど  
開闢された咸北の鐵業は今後據  
鐵の進捗に伴ひ相當の進展を見る  
べく、既に一二其の實現を見たりと  
云ふから、之等の出貨も將減少なく  
あるまい

●更に發達しつつある沿岸貿易も清  
津と内地との取引増進に伴ひ各小  
港共、釜山元山方面よりの仕入額著  
しく減少し、遂次清津に移つてあ  
らしく、此の傾向は交通並に地理  
上より見るも益々盛んなるべしと推  
する事が出来る

●清津港改良の事實現し、吉會線  
の敷設著手され、更に日本海橫斷航路  
路等實現するに至らば、清津は北鮮  
唯一の關門として海陸運輸交通機關  
の咽喉を扼するに至り、其の前途も  
樂觀して可なりだらう。

## 日報歌壇

京城 鈴木古亭

淋しくも一人歩めばかさこそと白  
楊落葉の音の冷めたや  
散らばれる白楊の黄葉に初霜のと  
けてしみたる秋の朝寒  
わが菊の橙色の朱をば消しかく  
ろき地に蒔しろくおこ  
秋昏の硝子障子にさそ光り秋の暮  
れ行く血色の夕陽

何鳥かうす草色の羽根もてる鳥來  
て鳴けり小春日の庭  
人の世の掟の前につましく徒は  
んとして心疲るゝ

■ 葬山 彌代子

限止み淋しき夜の世の果てにうど  
んやの聲幽かに細し

鳥渡る秋晴れたれや筑波見ゆ帆わ  
たる心歇まりて行む

手を下さすして正貨は自ら國庫に  
 銀行又は國庫に保護預けとするが  
 金を一片の預り證に換へて十六年一月一日に於ては二十四億五  
 千二十萬圓克に達せり即ち十一億九千  
 三百七十萬圓克の増加を示せり今

に至れるが、唯、通貨品の今日、當地に輸出されたる輸出数量は十萬噸を越へざるが、諸種の特貨を與ふる等、百方正貨により國境を越へ、關島庫券方面に發賣する物を除くと、剩す所は約割割の七十萬圓外に過ぎない、乃ち、清津貿易の大部分は通過貿易で、清津をして其所存金貨を提出せしめ、復た金貨は將來金貨として通せざるべし、又は此方令に違反する者は法律を以て處分すべしと威嚇して正貨の吸收に努めたり此項未完

▲更に貿易總額を縱横出入に大別すると、輸移出は約三割内外で、其の多くは關島庫券大市場に需要する、物資だ、所謂片貿易に偏してゐる、唯、今日迄の如く清津背後の陸上交通機關が如きには拘はらず、前掲の如き貿易數字を得る迄に發展したのに

### 清津管見(三)

西 海 生

[illegible]











